

ひなたぼっこ通信

2015年
3月号

介護難民をつくる介護報酬改定

この4月から介護の基本報酬が6%も引き下げられ私たちひなたぼっこも年間1300万円も引き下げられました。

政府は、介護職員に対して処遇改善加算をするとしていますが、加算を含めても2・27%も引き下げられ、どうやって介護職員の待遇改善を行うのか、毎日が悩みです。

鉛筆一本にしてもコピー用紙一枚にしても、節約しながら運営しているのが現状です。介護施設だけでなく、やむなく入居者、利用者へのサービスの質を落としたり、経済的負担を増大させる結果につながると思われます。

現在、特養ホームの待機者は全国52万人、この4月からは介護度3以上でなければ入所できなくなりました。厚労省は2025年度には新たに70万人が待機者になる、また介護職員が約30万人不足すると推計しています。さらに新年度から介護保険料の10%アップが予定されています。

社会保障のためと言いながら消費税増税を強行し、新年度予算案は福祉の費用を削りに削りながら、一方で空前の利益を上げている

大企業には2年間で1兆6000万円の大減税です。

今、政府がやるべきことは適切な介護報酬の引き上げで、介護職員の確保、国庫負担の引き上げ、介護保険料の引き下げ、低所得者の利用料減免などをはかることです。

(理事長 森 正明)

ケアハウスの看護職より

ケアハウスでは、現在看護師が4名体制で、他職種と連携をとりながら業務を行っております。近隣の病院からも往診に来ていただいて、定期受診や急病時にも、対応していただいています。その際処方されたお薬は、施設まで配達され、服薬指導もしていただいています。

往診していただいている医療機関

- ・ 富士見高原病院
- ・ 中新田診療所
- ・ やまびこクリニック
- ・ 岳歯科医院

私たち看護師は他のスタッフとともに、入居者の体調不良のサインをいち早く察知し、必要に応じて迅速な治療につなげるとともに、夜間帯の急変等にも対応できるように交代で待機しています。

入居者様が健やかに、毎日を笑顔で過ごされますよう努めて参りますので、ご心配なことやご相談がありましたら、遠慮なくお申し

出ください。

(ケアハウス看護師)

入居者様の作品をご紹介します

【ケアハウス2Fの入居者様】
心うつくしく 老いていきたい
しだれ柳のように
自然にあたまのさがるように

今日も一日 おだやかに
生かしていただく、ありがたさ
ふかみあるえがおの中に、のぞく愛
それを夢みて 生きるあかしに

【グループホーム1Fの入居者様】
○餅つきの かけ声そろい すべすべに
○初日の出 孫の笑顔が うかびおり
○争いのない世を願ふ

初日の出
○ふるさとは 屋根までの雪
子等との日

お風呂でほっこり

ケアハウス



まだまだ寒い日が続き、花の便りが待ち遠しいこの頃ですが、入居者様にはお風呂で心身ともにゆったりとリラククスしながら、温まって頂いています。入浴は全身の血液循環や新陳代謝を促し、また関節の動きを柔軟にし、心身を爽快にする



効果が期待できます。

ケアハウスには、各階に大勢で入れる24時間対応の一般浴や家庭用と同じ個浴、スタッフがお手伝いしながら入浴していただく介助浴、さらに起立や座位を保つことができない方でも入浴できる機械浴があります。入浴前には体温、血圧、脈拍などの全身状態を確認し、当日の体調やご気分に合わせて少なくとも週2回は入浴して頂けるようにしております。



1 F 機械浴



2 F 機械浴

浴室や脱衣所は室温調整や床暖房も整っており、特に機械浴は、転落防止柵やベルト介助バー、滑り止めマットなど充分に安全を確保して、二人一組でお手伝いをさせて頂いております。冬は特に乾燥によるかゆみを訴える方が多く、保湿効果のある入浴剤や湯あがりにローションを塗るなどおひとりずつの肌質に合わせて、対応を工夫しています。

「入れてもらって良かったよー」とか、ひげも剃ってさっぱりした笑顔で「やっぱりお風呂はいいなあ」などと言って下さると汗だく

の私たちも嬉しくなります。入浴が少々おつくうな日もありますが、ゆっくり温まってこの寒さをのり切りましょう。

ひなたぼっこランチのご案内

毎月、第4日曜日は『ランチの日』です
血圧測定、健康相談のほか簡単な小物作りなども行っています

3月22日(日) 10:00～13:00

昼食代は40円 送り迎えも致します

お申込みは宅幼老所 山下までどうぞ

あったかいね。カレー鍋会

グループホーム2Fでは2月10日にカレー鍋会を開催しました。いつもの食事とは違って大きな土鍋を用意して食材を調理台に並べると皆さんの様子が何となくソワソワ。なぜか作っている職員もソワソワとしてしまします・・・。いつもとは違うことをすると、わくわくするのはだれでも一緒ですね。

カレースープの香りがフロアに広がります。「今日はカレー鍋会ですよ」とお声掛けすると、「そうかい」「ほうっ」と皆さん心待ちにされている様子です。各テーブルに1台ずつガス台を置き、具材の入った鍋に火がつく頃には全員が食卓に着きました。入居者様の顔を見ながら好きなものを盛り付け、さあ、いただきます。「野菜が美味しい」「あったま

るね」みんなニコニコ顔です。締めものチーズリゾットのまた美味しいこと。とても大満足なカレー鍋会でした。

宅幼老所の手作りひな祭り

2月の共同制作はお雛様を製作しました。お雛とめ雛、ぼんぼりに菱餅、橘と桃の木を利用者様それぞれが一つずつ担当し見事な合作となりました。

お雛様の着物は、きめ込みパッチワークで余った布を使用しとっても華やかな仕上がりになりました。

3月3日のひな祭りには、作品の完成と子供たち孫たちの成長のお祝いをしたいと思えます。



《宅幼老所からのお願い》

ご不用になったタオル・バスタオル・布類等がございましたら、お譲りください。

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336